

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の
天然記念物

関係のある情報

【場所】高梁市高倉町飯部

【時代】江戸時代前期

【指定年月日】昭和33年2月24日

【所有】個人

【見学】可

【見学時の注意】

国道の側であるため、通行する車両等に気をつけること。



みさきじんじやのすぎ

御鋒神社のすぎ

かんけい しまち
関係する市町

たかはし し
高梁市



この天然記念物について

御鋒神社は、JR伯備線方谷駅より3kmほど高梁川の下流にある大杉の木立の中にあります。

大杉の木立の下は、かつて高瀬舟の船頭たちが恐れた難所でした。備中松山城主の水谷勝宗が猪狩りの帰り道、この瀬にかかると、船頭が岸边にある二又の大杉にお辞儀をしました。その理由を尋ねると、船頭は「大杉の根元に祀られている御鋒様を拝むと危険を免れます」と答えたので、勝宗は社殿を作ったと伝えられています。御神木の樹齢は1,500年とされています。